

様式1(主な取組)

活動指標名	文化庁等機会提供事業鑑賞児童生徒数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	12,954人	11,881人	20,034人	14,870人	20,408人	13,000人	100.0%	474	順調	文化庁、県、市町村教育委員会及び学校等との共催により鑑賞機会提供事業を実施した。内容は、ミュージカル、オーケストラ、児童劇、音楽などの鑑賞やワークショップ・共演を実施した。また、離島・へき地の児童生徒に芸術鑑賞提供するため、粟国村で公演(木管五重奏)実施した。	
活動指標名					R3年度						
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
											各教育委員会との連携を図り、本事業を周知した。この取組を継続したことによって、応募校の増加につながった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった公演もあったが、感染対策を講じて多くの公演が実施され、鑑賞児童生徒数は、20,408人と計画値を上回ることができた。進捗状況は順調である。
活動指標名					R3年度						
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和3年度 of 取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> 行政説明会や市町村教育委員会担当者への事業の周知を継続し、併せて各学校への周知や応募の呼びかけを実施する。 応募数の少ない市町村には応募を再度呼びかける。 過去、県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、新たな学校が応募できるように支援する。 						<ul style="list-style-type: none"> 各市町村教育委員会との連携を図り、本事業について周知を図ることができ、応募数増加につながった。 新たな市町村からの応募があり、増加につながった。 新たな学校からの応募があり、増加につながった。 					



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・本県は、学力向上対策が最重要課題であり、このため各学校とも授業時数の確保等が優先される傾向が見られる。
- ・これまでの行政説明会や小・中学校校長研修会等で事業の周知は進んでいるが、市町村によって応募学校の差が見られる。

○外部環境の変化

- ・他県に比べても離島が多いことなどから、準備に要する時間や移動時間がかかるため開催回数が限られ、芸術文化に触れる機会がまだまだ足りない。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止の可能性がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・行政説明会や市町村教育委員会担当者への事業の周知を継続し、併せて各学校への周知や応募の呼びかけを実施する。
- ・応募数の少ない市町村には応募を再度呼びかける。
- ・過去、県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、新たな学校が応募できるように支援する。

4 取組の改善案 (Action)

- ・行政説明会や市町村教育委員会担当者への事業の周知を継続し、併せて各学校への周知や応募の呼びかけを実施する。
- ・応募数の少ない市町村には応募を再度呼びかける。
- ・過去、県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、新たな学校が応募できるように支援する。